

鶏用不活化ワクチンを安全にお使いいただくために

鶏用不活化ワクチンの誤注射による使用者の事故が発生しております。
下記をご確認いただき、接種の際は、十分に注意して作業を行ってください。

1. 鶏用不活化ワクチンに含まれる成分

鶏用のワクチンには、主剤である「抗原」と、ワクチンの効果（免疫原性）を増強する目的で使用される「アジュバント」が含まれている製品があります。

例）鶏サルモネラ不活化 3 混・KS 添付文書より

本ワクチン成分の特徴

微生物名	抗原		アジュバント	
	人獣共通感染症の当否	微生物の生・死	有無	種類
サルモネラ・エンテリティデイス	当	死	有	ミネラル オイル
サルモネラ・ティフィムリウム	当	死		
サルモネラ・インファンティス	当	死		

特にオイルアジュバントの場合、注射部位の腫脹、激しい痛み、発熱などの症状がでる場合があります。最悪の場合、アナフィラキシーショックが発生する可能性があります。

2. 誤注射を防ぐため、もしもの時の準備

- 定期的に、接種を行う際の作業工程や注意事項を確認し、意識を高めて事故発生予防に努めてください。

参考：畜産ナビ：鶏用ワクチンの接種手順 -皮下接種編-
<https://chikusannavi.kyoritsuseiyaku.co.jp/disease/69>

鶏用ワクチンの接種手順



- 万一に備えて、近くの病院の場所や連絡先をあらかじめ確認しておいてください。

3. 誤注射してしまった時の対処方法

- 誤ってヒトに注射した場合は、刺した部位を流水で洗い流しながら、傷口の周囲を強くつまんで血液を絞り出すか、傷口を吸引するなどしてワクチン成分をできる限り体外に排出し、直ちに医師の診察を受けてください。

- ・医師の診察を受ける際には、**鶏用不活化ワクチンを誤注射した旨を伝えるとともに当該ワクチンの添付文書を提示してください。また、オイルアジュバントを含んでいる場合はその旨もお伝えください。**添付文書は弊社ホームページでダウンロードすることも可能です。

【共立製薬株式会社 HP 製品情報】

<https://www.kyoritsuseiyaku.co.jp/products/>

製品情報



- ・動物用医薬品等に関する成分及び分量、使用上の注意等の情報は農林水産省動物医薬品検査所ホームページで確認することができます。

【動物医薬品検査所 HP 動物用医薬品等データベース】

<https://www.vm.nval.go.jp/>

- ・蕁麻疹等の皮膚症状、腹痛・嘔吐等の消化器症状、息苦しさ等の呼吸器症状、血圧低下、意識レベルの低下等があれば、速やかに救急車を呼んでください。

※2023年7月時点で弊社の鶏用ワクチンの誤注射によるアナフィラキシーの報告はありません。

4. よくある質問

Q1. ワクチンの病原体に感染することはありますか？

A1. 不活化ワクチンですので、ワクチンの病原体に感染することはありません。

Q2. 針が刺さっただけなので、病院に行かなくてもよいですか？

A2. 細菌感染の恐れもありますので、必ず医師の診察を受けてください。

Q3. 誤注射したところが少し痛むだけなので、病院に行かなくてもよいですか？

A3. 必ず医師の診察を受けてください。時間が経ってから症状が悪化する場合があります。

Q4. 医師の診察を受ける際に、用意しておくものはありますか？

A4. 製品の添付文書をご持参ください。

Q5. 解毒剤や中和剤はありますか？

A5. ありません。

【製品情報お問い合わせ先】

共立製薬株式会社 学術

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-5

TEL:03-3264-7559